

学会(総会・地方会)における発表時の利益相反状態の開示について 要項1

●口演(シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題など)スライドを用いて発表する場合

1)開示方法は、発表時のスライドに開示例①のFORMAT(3ページ)で開示してください。

2)表記は発表が日本語であれば、日本語版 様式1(3ページ)、
また英語であれば、日本乳癌学会HPの英語版FORM1(準備中)に準拠して作成してください。

3)金額については発表時に様式1の金額の項目(2ページ)を参照し、該当する項目があれば
該当の列の【あり】を残し、【なし】を削除してください。また、
該当がなければ【なし】を残してください。

開示例①の具体例(4ページ)

●POSTER(POSTER DISCUSSIONを含む)

1)開示方法は、POSTERなどのCONCLUSIONの後に記載してください。(5ページ)

2)表記は日本語版 様式1、または乳癌学会HPの英語版FORM1に準拠してください。

学会(総会・地方会)における発表時の利益相反状態の開示について
要項2 様式1から

筆頭演者の利益相反自己申告書

	金額
(1) 役員・顧問職	100万円以上
(2) 株	利益100万円以上/全株式の5%以上
(3) 特許使用料	100万円以上
(4) 講演料など	50万円以上
(5) 原稿料など	50万円以上
(6) 研究費	100万円以上
(7) その他報酬	5万円以上



The Japanese Breast Cancer Society
since 1992



筆頭演者の利益相反状態の開示

	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問職	あり ・ なし	
(2) 株	あり ・ なし	
(3) 特許使用料	あり ・ なし	
(4) 講演料など	あり ・ なし	
(5) 原稿料など	あり ・ なし	
(6) 研究費	あり ・ なし	
(7) その他報酬	あり ・ なし	



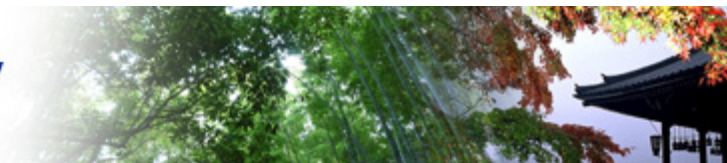
筆頭演者の利益相反状態の開示

	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問職	あり	Xベンチャー企業
(2) 株	あり	A製薬、Yベンチャー企業
(3) 特許使用料	なし	
(4) 講演料など	あり	A製薬、B医療機器メーカー
(5) 原稿料など	あり	C製薬
(6) 研究費	あり	D製薬、E医療機器メーカー、 F検査会社
(7) その他報酬	あり	G化粧品会社、H生命保険会社、 I出版社

4ページ:例題(すべての項目に該当なしの場合)



The Japanese Breast Cancer Society
since 1992



筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし

POSTER DISCUSSION or POSTER

筆頭演者の利益相反状態の開示

	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問 職	あり	Xベンチャー企業
(2) 株	あり	A製薬、Yベンチャー企業
(3) 特許使用料	なし	
(4) 講演料など	あり	A製薬、B医療機器メーカー
(5) 原稿料など	あり	C製薬
(6) 研究費	あり	D製薬、E医療機器メーカー、 F検査会社
(7) その他報酬	あり	G化粧品会社、H生命保険会社、 I出版社

5ページ:開示用 ポスター(すべての項目に該当しない場合)

POSTER DISCUSSION or POSTER

筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし